

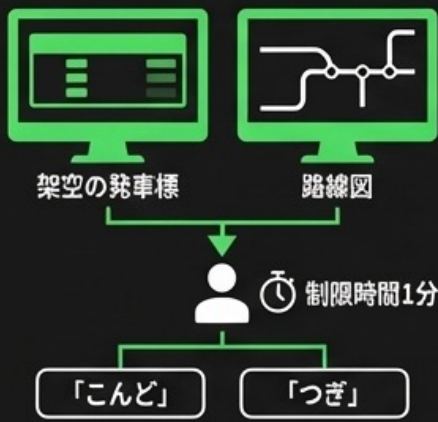
# 駅ホーム発車標のUX課題と次世代表示へのアプローチ

## 背景と課題






- ・相互直通運転や列車種別の多様化による「路線網の複雑化」。
- ・スマートフォンを持たない・使わない層（特に年長世代）にとって、限られた表示領域での直感的な乗車判断が困難な状況。

## 検証メソッド



- ・評価指標：正答率（乗るべき列車の的確な判断）と回答時間。
- ・課題設計：要素の異なる4問+アンケート調査。
- ・評価指標：正答率（乗るべき列車の的確な判断）と回答時間。
- ・課題設計：要素の異なる4問+アンケート調査。

## 抽出された3つのUI障壁

-  【認知バイアス】  
年長世代は説明文を読み飛ばし、「時間差」のみで判断する傾向（一部設問の正答率に有意差）。
-  【用語難解】  
【用語の難解さ】  
「〇〇へは××が先着」という鉄道特有の表現が瞬時に理解されない。
-  【動的表示のストレス】  
スクロール（流れる文字）に対する強い不満と、待つことへのもどかしさ。

## 次世代表示へのデザイン要件

- ✓ 脱・スクロール表示（限られたスペースでの静的表示への転換）。
- ✓ 鉄道特有の専門用語から、瞬時に伝わる「日常言語」への翻訳。
- ✓ 「読まれない前提」での情報設計（直感的な視線誘導とレイアウト）。